

に入つた。

一般情勢報告として北山氏が次り如き報告を寄した。——昨年四月社民黨を脱党したる後、本組合の組織は日に發展して來て居る。近くは全農の秋田縣前田村支部が我が陣營に参加し、更に豫後備軍人によつて組織されて居る自主道會とも提携する様になつた。——
右一般情勢報告後、各地方の情勢報告として北海道聯合會、京都支部聯合會、岐阜縣聯合會、九州同盟會等の地方情勢報告をなした。右終るや議長は午後一時半迄休憩を宣した。

一時四十分閉會

まづ議長は松下（東京府聯合會）、白鳥（日本労働同盟、社本（自主道會）の諸氏に祝辞をなした。

それより資格審査委員會、議事委員會等の報告あり、いづれも

承認され、直ちに議事の審議に入つた。

一、綱領變更に関する件（説者若冷里氏）

従來の綱領は單なる經濟闘争のみを重点と置いたのであるが、もとイデオロギイを明確にし、経済的、政治的闘争を表現するものではないべならぬと説明をなし左記の通り決定した。

一、我等は自主道政治確立のために闘ふ。

一、我等は資本主義を打倒し、國家統制經濟を確立す。

一、我等は團結の力により農民解放、果敢なる闘争を遂行す。

二、土地問題に関する件（説明者平野氏）

全國耕地面積約六百萬町歩（田三百十五萬六千五百三十四町二反歩、畑二百八十三萬二千二百八十五町八反歩）のうち、田、水作地約百七十萬町歩も国有化せんとするものがある。その方法は土地公債（三分利付）